

2013年4月10日

ケンブリッジ英検 CAE/CPE 体験記

ケンブリッジ英検は ICN に相談に行くまではその存在を知らませんでした。大学での勉強の空いた時間を使って CAE、CPE 夫々約 3 ヶ月のコースを受講しましたが、今まで受けた英語の試験の中では一番難しく、相当苦戦しましたが、英語の力は確実に付いた事を実感しました。

以下、私の経験談ですが英語を学ぶ皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。

1. 学習の背景

私は特に帰国子女でもなく、英語には何時も苦手意識を持っています。過去に TOEIC では 940 点を取得しましたが、だからといってペラペラ、スラスラと英語を操れる訳では有りませんでした。シドニーの大学で授業に出ている、豪州人のクラスメイトと話をしていても、英語の苦手意識が出てしまいます。TOEIC では幾ら勉強しても英語力が付いた気がせず、どのように勉強すれば英語が上手くなるのかと悩んでいた時に ICN を訪れ、そこで始めてケンブリッジ英検を知りました。

案内された語学学校に行き、クラス分けテストを受けた結果 CAE のクラスに入る事となりました。そこで始めてケンブリッジ英検に触れましたが、想像していたよりも遥かに難しく、自分の英語力の無さを痛感しました(5科目の試験を受けますが、特に Speaking がぼろぼろで、先生からも厳しい言葉を貰いました)。これまでどうすれば英語が上手くなるのかと悩んでいた時間をもったいなく思うと共に、これを最後まで続ければ英語力は確実に向上すると実感しました。

2. CAE - Embassy CES

ケンブリッジ検定では 5 科目の試験が有り (Reading, Listening, Writing, Speaking, Use of English) どれも大変難しい内容です。全てに苦勞しましたが、一番苦勞したのは Speaking です。2-3 人一組で幾つもの課題に答え

て行きます。その中ではネイティブ並みの応答力、表現力が求められます。テンポよく回答して行く事に慣れるのには相当苦労しました。話のネタが思い浮かばない事に加え、思っている事を表現出来る英語力が有りませんでした。休み時間や昼休みを中心にクラスメートの輪に積極的に加わり、授業で学んだ表現、文法をその場で直に試す様にしてからは、Speaking が一気に伸びました。コースが終了する時に模擬試験で Speaking をしましたが、その時に先生に「違う人のようだ」と言われた時にはレベルが上がっている事を強く感じました。

Embassy では授業は朝 8 時からで、昼休みには過去問演習を行い、終了は 3 時頃。その上に宿題、単語調べ等をしていると毎日ヘトヘトに成りますが、大変ユニークなベテラン先生のお陰で毎日楽しく勉強出来ました。

試験はコンピューター式のテストを受けましたが、Use of English と Writing の出来が良く、合格出来ました。

3. CPE - SELC

シドニー内で CPE の授業を開催している学校は限られていますが、その中でも一番親切、丁寧な対応をしてくれた学校が SELC でしたので、ここで CPE を学ぶ事にしました。経験豊富な先生が週の全後半で入れ替わる二人制で、親身な指導をして頂きました。クラスの人数も、授業期間中に増減は有りましたが、最後は CPE 受験者の 4 人クラスとなり、非常に密度の濃い授業を受ける事が出来ました。

CPE では語彙数が CAE に比べて桁違いに多くなります。試験では時間的な余裕は有りますが、難易度は最高級です。問題が余りにも難しく、勉強しても点数が伸びる気がしませんでした。3 ヶ月のタームで見ると上達は目に見える形で分かります。模擬テストを期間中 2 度、本試験と同様の環境で行います。又 Speaking も何度もパートナーと一緒に練習し、ライティングもバンドスコアを付けてくれ、授業後は Self-study という時間が有り、過去問演習をし、出来なかった部分を復習する事を繰り返します。毎回しっかり点数を記録して行くので上達が見えました。

Speaking ではどうしても日本人らしい発音の癖が出てしまい、何度も自分の声を録音して、どうすればネイティブらしく発音出来るか繰り返ししました。結局試験では、Writing が全く駄目で、これが足を引っ張る形で合格点には届きませんでした。然し、それ以外の科目では押し並べると合格点には届いていましたので、総じて英語力は付いたと思います。

テスト以外の所では、日常生活が各段に楽に成ったと感じます。テレビ、ラジオ、新聞は以前よりも数段分かる様に成り、英語での応答も英語らしく出来る様に成り、また、英作文をしても、これまでは気にしなかった語彙、文法更には構成まで気をつける様に成りました。本当に厳しい試験勉強でしたが、苦勞に対する成果は十分に有ったと思います。

4. 項目別反省点

以下は細かいですが、CAE、CPE 別に項目別に私の反省点を記載致します。人夫々強み、弱みは違いますし、上達に向けた勉強法も違うと思いますが、私の反省点が少しでも皆様方の参考になりましたら幸いです。ICN 様経由ご連絡を頂ければ何時でも相談に乗りますのでご連絡下さい。

4.1. CAE

- Reading

時間が足りず、設問が非常に難しく、本文の内容を十分良く理解出来ないと選択肢を選ぶ事が出来ません。CAE を始めた頃は間違った問題の答と、その根拠となる文章を指摘されても全く分からない事も多々ありました。色々な分野の本、雑誌や新聞の文章から出題されるので、時間を図りながら日頃からもっと読むべきであったと思いました。

- Listening

設問、選択肢の内容は Reading のそれと似ています。正解を導く鍵はもちろん放送文内にありますが、その表現が上級レベルの表現なので、語彙力が無いと分からず、英語特有の会話のやり取りも分からないと何が話されているのか分からない事も有ります。

- Writing

英語では formal、informal で書き方が全く異なります。又、書く内容によっても固有の表現、書式があります。個人的には、分かり易く書く事 (coherence) に悩みました。最後は得点源に成りました。

- Speaking

ケンブリッジならではの質問が多く出ます。パートナーとのディスカッションもあります。日本人的な発音の問題と応答のテンポには苦労しました。個人的には、会話の際の頭の働き方が変わった様な気がします。

- Use of English

一番得意な項目で、得点源になりました。ここで出てくる表現は日常会話でも良く出てきますし、Speaking の中でこうした表現を連発出来ると高評価に繋がります。素晴らしい表現の宝庫で、一番楽しめました。

4.2. CPE

2013 年より試験内容が変更になってしまったので、最新の試験内容については学校に確認して下さい。

- Reading

CAE に比べると時間的な余裕は有ります。しかし語彙のレベルや文章内容の理解は相当深いものを要求され、点数を取るのに苦労しました。中でも段落整序問題については最後まで悩まされ、全ての回答に自信を持って答えられる様に成るには至りませんでした。

- Listening

CPE ではどの分野も極めて難しいですが、Listening は比較的早く合格点に達しました。2013 年からの改正でテスト内容が変わってしまいましたが、良く聞いて、言い換えに注意して選択肢を選ぶという他に良いやり方は有りません。

- Writing

CAE に比べ、出題の選択肢が限られるので、書くべきスタイルに集中して勉

強出来ます。時間は十分に有るものの、文章構成、表現方法、読者に対して効果的な文と成っているか等々に加え、分かり易さに欠けてしまい、最後まで自信の有る書き方を身につける事は出来ませんでした。個人的には表現の正確性と文意をシンプルにする事に気をつけ、出来る限りレベルの高い表現を使う様心掛けました。

- Speaking

質問されるジャンルは多岐に亘りますが、何度も繰り返し練習していると分野毎に必要な語彙、口頭表現は身に付きます。ケンブリッジを始めた当初は苦手にしていた分野ですが、慣れてくると、どんな質問にも答えられる様に成り、安定して点数を確保出来た分野に成りました。ボキャブラリーは恐らく日本人でしたら点数を伸ばせる部分に成ると思います。Use of English で出てくる難しい表現、意外な多義語等、Speaking で使えると点数が上がります。パートナーが2分間話した内容に付いて、賛成/反対の立場から1分程度コメントをするパートが有りますが、難しく感じました。どの点に付いて良く聞き、どう反応すれば良いかがしっかり身に付いた気がします。

- Use of English

サマリー作成の問題も含めて、楽しめた分野です。時間は十分余裕が有りました。しかし、文法、イディオムの問題は難解で、よく考えないと答えが思いつきませんでした。経験豊富な方であれば直に答えが思い浮かぶかもしれませんが、そうでなくとも、悩めば悩む程、単語・文法の定着は良く成ると思いますので、徹底的に考えて間違っても答えを出してみると覚えも早く成ると思います。

5. その他の反省点

時間管理、健康管理にはもっと気をつければ良かったと思います。

ケンブリッジ英検の勉強量はかなりの量だと思います。宿題、復習、単語帳、過去問など、十分と言える勉強量を確保するのは難しいと思います。個人的にはこれに大学での授業、レポート、試験も有りましたので、毎日、分

刻みのスケジュールを数ヶ月単位で組んで勉強をしていました。こうした時間管理の大切さにもっと早く気付いていればと思います。

また、この厳しいスケジュールをこなすにも、体調を崩してしまっては元も子もありません。春夏秋冬の温度感覚や季節の変わり目の気候の変化は初めて暮らす地では分からない事も多く、何度か風邪をひいてしまい、その後授業に追いつくのに大変苦労しました。

6. ICN のサポート

語学学校の選択から、ビザに関する相談まで、大変親身な対応をして頂きました。こうしたサポートのお陰で、英語の勉強に専念出来る環境を作って頂き、勉強するモチベーションも十分高いレベルで保つ事が出来ました。

夫々の英語レベル、環境に応じて、効果的な勉強法を常に提案して頂く様に大変信頼する事が出来、いつも迷う事無く相談させて頂きました。

7. 最後に

シドニーの大学の方は無事に卒業出来、今は別の場所に引っ越して実務研修に入っています。日本人は私だけという環境で研修をしていますが、ケンブリッジ英検勉強のお陰で、会話や読み書きには自信を持つ事が出来、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションもしっかりと出来ています。又、CAE、CPE とともに日本人学生は常に一人だったので、外国人に囲まれた中でもどのように振る舞えば良いか、勉強になった気もします。

サポートして頂いた多くの方のお陰で、6ヶ月の勉強を終える事が出来ました。ケンブリッジは勉強して損の無い内容ですので、時間を見つけて又勉強したいと思います。

ICN の皆様、ご支援頂きまして有り難う御座いました。